


小美玉市(おみたまし)

	市章 〒 319-0192 〈住所〉 小美玉市堅倉835番地 〈TEL〉 0299-48-1111 〈FAX〉 0299-48-1199 〈HP〉 http://www.city.omitama.lg.jp/ 〈e-mail〉 info@city.omitama.lg.jp	地域指定 特定防衛施設	法人番号 6000020082368
	一部事務組合加入事業 し尿 運動場 退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 水道 下水道使用料徴収 ごみ 処理広域化 老人福祉センター 火葬場	公営企業 法適用(上水) 法非適用(公共下水 特定環境下水 農業集落排水 特定地域生活排水)	
類型 II-1 地方公共団体コード 082368 面積 144.74 km ²			

<行政組織>

①長等(令和元年5月1日現在)

長	しまだ じょういち 島田 穰一 (74歳)	任期	令和4年4月29日
副市長	欠員	就任回数	4 期目

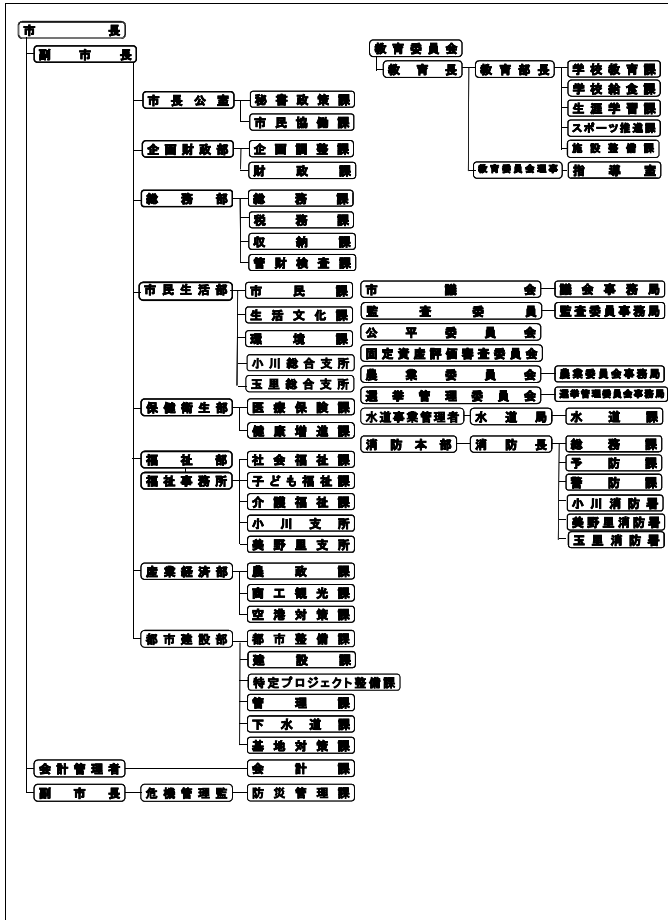
②議会(令和元年5月1日現在)

議長	市村 文男	副議長	藤井 敏生
任期	令和元年11月30日	条例定数	20 人
党派別	公明1人、共産1人、無所属18人	現議員数	20 人

③職員数(平成30年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係		公営事業会計関係	
	うち一般行政関係	うち一般行政関係	うち一般行政関係	うち一般行政関係
493	442	257	51	
一般行政職の平均給料月額	3,170 百円	ラスパイルズ指数 98.8	地域手当補正後ラス指数 98.8	
全職員数の推移	平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日	
	502	507	502	

④機構図(平成31年4月1日現在)



<概要>

①沿革

平成18年3月27日 合併
小川町 美野里町 玉里村

②地勢・風土等

東京都心から北東へ約80km、茨城県のほぼ中央部に位置し、北へ20kmの距離に県都水戸市、南西へ20kmの距離に筑波研究学園都市がある。地表は概ね関東ローム層に覆われ、起伏も少なくほぼ平坦な地形となっており、南部は霞ヶ浦に接している。
市の西部をJR常磐線、国道6号、常磐自動車道が貫き、南部には国道355号が通り、東部には航空自衛隊百里基地がある。
基地の共用化による茨城空港開港(平成22年3月)に続き、平成26年7月、地域再生拠点施設「空のえき そら・ら」のオープンにより、新たな交流人口を生み出している。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成31年4月1日)	
	平成17年	平成22年	平成27年		
人口	男	26,912	26,299	25,696	24,813
	女	26,353	25,980	25,215	24,464
	合計	53,265	52,279	50,911	49,277
世帯数	16,564	17,207	17,491	17,890	

④有権者数(平成31年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 28.1 %
	21,219	20,980	42,199	

<産業・経済>

①生産・所得(平成27年度)

市町村内総生産	2,249 億円	住民所得	1,497 億円
		人口1人当り住民所得	2,941 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成27年度)		就業人口(平成27年国調)	
第1次	19,755	8.8 %	2,989	11.8 %
第2次	89,562	39.8 %	7,580	29.9 %
第3次	113,983	50.7 %	14,781	58.3 %
総額・総数	224,853	—	26,295	—

③農業・工業・商業

業種	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
農業 (平成27年2月1日)	2,526	559	2,968
業種	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H27.1.1~12.31)
製造業 (平成28年6月1日)	134	6,519	200,283
業種	事業所数	従業者数	年間販売額 (H27.1.1~12.31)
卸・小売業 (平成28年6月1日)	374	3,360	120,431

④特産物

ニラ、レンコン、イチゴ、ヨーグルト、ブルーベリー、鶏卵、プリン、納豆

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成28年度決算	平成29年度決算	増減率
歳入	24,154,983	23,745,928	△ 1.7
歳出	23,402,719	22,611,531	△ 3.4
形式収支	752,264	1,134,397	-
実質収支	596,279	913,878	-
単年度収支	11,071	317,599	-
実質単年度収支	13,050	154,954	-

②主な歳入・歳出(平成29年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	23,746	-	△ 409	△ 1.7
地方税	6,780	28.6	98	1.5
地方交付税	4,567	19.2	△ 509	△ 10.0
国庫支出金	4,749	20.0	△ 36	△ 0.8
地方債	2,103	8.9	△ 421	△ 16.7
うち臨財債	801	3.4	1	0.1
その他	5,547	23.3	459	9.0
うち繰入金	720	3.0	408	130.8
歳出	22,612	-	△ 791	△ 3.4
義務的経費	10,380	46.0	175	1.7
人件費	3,747	16.6	△ 81	△ 2.1
扶助費	4,512	20.0	158	3.6
公債費	2,121	9.4	98	4.8
投資的経費	4,168	18.4	△ 726	△ 14.8
普通建設事業費	4,168	18.4	△ 726	△ 14.8
うち補助	2,698	11.9	△ 308	△ 10.2
うち単独	1,456	6.4	△ 424	△ 22.6
その他の経費	8,064	35.6	△ 240	△ 2.9
うち繰出金	2,402	10.6	△ 285	△ 10.6

③主要指標(平成29年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.97)
連結実質赤字比率	- % (17.97)
実質公債費比率	7.4 % (25.0) [6.8]
将来負担比率	64.1 % (350.0) [37.0]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成30年度)	0.619	[0.702]
経常収支比率	88.8 %	[90.3]
標準財政規模(平成30年度)	12,944 百万円	[15,229]
地方債現在高(A)	25,981 百万円	[25,274]
債務負担行為支出予定額(B)	5,989 百万円	[5,537]
積立金現在高(C)	8,618 百万円	[7,450]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	23,352 百万円	[23,361]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成29年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	2,519,176 (35.5)	2,390,103 (35.3)	94.9 [96.0]
市町村民税・法人 (構成比)	603,136 (8.5)	599,455 (8.8)	99.4 [98.6]
固定資産税 (構成比)	3,402,732 (48.0)	3,248,901 (47.9)	95.5 [95.6]
市町村税合計 (国保除く)	7,092,447	6,780,077	95.6 [96.2]

<公共施設整備状況>(平成29年度) ※1は平成30年度

小学校 ※1	12 校	プール	3 か所
中学校 ※1	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	7 園	老人福祉施設	39 か所
保育所 ※1	8 か所	病院・一般診療所	25 か所
認定こども園 ※1	5 園	道路改良率	36.5 %
図書館	2 か所	道路舗装率	53.8 %
公営住宅	250 戸	上水道等普及率	97.6 %
公民館等	7 か所	汚水処理普及率	78.2 %
体育館	3 か所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
合併市町村幹線 道路緊急整備事 業	H18 ～ R7	5路線 8.0km	5,600
下水道事業	H9 ～ R5	公共下水道整備事業 面積2,007ha 処理人口44,480人 農業集落排水事業 面積730ha 処理人口9,810人	38,650
学校規模・学校 配置適正化事業	H27 ～ R4	教育効果を高めるため、時代の流れに 応じた学校のあり方やまちづくりに配慮 した学校配置の適正化を推進	6,500
JR羽鳥駅及び駅 前広場整備事業	H22 ～ R2	羽鳥駅の橋上化を含む羽鳥駅周辺の 一体的整備	3,000

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p><主要課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城空港の利用促進 ・地域再生拠点施設(空のえきそ・ら・ら)の活用 ・下水道の整備促進 ・行財政改革の推進及び財政の健全化 ・小中学校の適正規模適正配置 ・公共交通ネットワークシステムの構築 <p><特色ある行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり組織支援事業 ・放課後子どもプラン ・芸術文化振興(まるごと文化ホール計画) ・シティプロモーション事業
